

キャラクター名 レニー・リッケンバッカー	プレイヤー名
-------------------------	--------

シンドローム	キュマイラ ハヌマーン	ワークス	UGN	エージェントA	カヴァー
オプション	エグザイル	年齢	24		性別
覚醒	渴望	衝動	嫌悪	初期侵食率	36%
出自	貧乏	経験	大転落	邂逅	希望

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	31
肉体	4	1	0			5	行動値	14
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	15
精神	1	0	0			1	戦闘移動	20
社会	2	0	0			2	全力移動	40

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	3	
運転：波	4		芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
マイナー	白兵	10r+1	1	LV+6		
メジャー	白兵	14r+1		7		C値8。装甲無視。ダメージを与えた対象の次の攻撃のダメージを-8。

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
対低環境スーツ	9	4	-1	-1	あらゆる環境に対応できる。

所持品		合計装甲：	4	合計回避：	-1
カジュアル		ロイス			
フォーマル					
携帯電話		対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム
アクセサリ(腕時計、サングラス)		奇跡の血	P	N	
専門家：機械工学		スカイチャンプ	P	友情	N 劣等感
		マルヴィン・メラース	P	庇護	N 隔意
			P	N	
			P	N	
			P	N	
			P	N	
		最大財産P:	10	残り財産P:	0

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
影走り	1	1	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果：	戦闘移動を行う。離脱可。 シーンLV回。							
破壊の爪	1	3	マイナー					
効果：	素手のデータ変更。							
形状変化：剛	1	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果：	シーン間、攻撃力+[LV×2]。							
コンセントレイト：キュマイラ	2	2	メジャー	-	-	対決	-	
効果：	C値-[LV]。 下限値7。							
深き傷跡	4	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果：	ダメージを与えた対象の次の攻撃のダメージを-[LV×2]する。							
吠え猛る爪	4	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果：	装甲無視。攻撃力-[5-LV]。							
貪欲なる拳	2	3	メジャー/リアクション	-	-	-	-	
効果：	ダイス+[LV+1]個。							
獅子奮迅	1							
効果：								
先手必勝	4	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果：	【行動値】+[LV×3]。 侵蝕率基本値+4。							
海の魔術師	★	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果：	水中を自在に動き回れる。							
効果：								
効果：								
効果：								

実直で素直な性格の青年。
レネグイドの影響で体が荒いサメ肌になっており、常に身体サポートスーツを着て肌が露出しないようにしている。
苦手な食べ物はピクルス、好物はフィッシュバーガー。
海沿いの町に住んでおり、泳ぎが得意で夏はライフセーバーを営んでいる。

レニーは元々、将来有望な水泳選手だった。
海沿いの漁師町で生まれ、当時は極貧だったが、親族はポジティブで家庭は明るく、レニーもそれに影響されやすく育つ。
水場の近くで育ったことから、幼い頃から泳ぎの経験が豊富だった。
やがて、スクールに通うようになったレニーは、その才能を見込まれ水泳選手としてスカウトを受ける。
レニーは大会でも高記録を出し、一時大きな注目を集めるに至る。
その活躍によって、家族の生活も安定していき、レニーは更に大きな大会への挑戦を決意し上京する。
日々、より早いタイムを求め、鍛錬に励む。
世界の舞台がかかった大会の最中、異様な程の好記録を叩きだし、レニーは世界への切符を獲得する……筈だった。
競泳を終え、差し伸べられたコーチの手をレニーの手が削り取る。
レニーの体はひどく荒いサメ肌になっていた。
「能力」が閉ざされた世界の中、然るべき処置がもたらされ、事件は隠蔽された。
表向きにはレニーは規約違反を犯したとして、選手生命を断たれた。
やるせないさと悔しさでレニーは荒れた生活を送るようになり、彼からは遠ざかっていく。
気遣い慰めようとする者も、レニーはサメ肌で傷つけてしまう。
自然と肌の露出が少なくなり、何を触るにも臆病になって徐々にレニーは塞ぎこんでいった。
そんなある日、彼の住む町の郵便局を強盗が襲う。
見て見ぬ振りをして立ち去ろうとするレニーの耳に助けを呼ぶ声が届いた時、彼の足は自然と郵便局へ向かっていった。